

令和4年8月3日

# 日立理科クラブ通信



No. 173

日立理科クラブ

## 日立理科クラブ活用研修会

8月1日(月)、教育プラザで行われた市教委指導課主催の「日立理科クラブ活用研修会」を紹介します。

「日立理科クラブの授業支援及び学習教材活用方法についての研修を行い、2学期以降の授業での活用を円滑にし、本市児童生徒の科学への興味関心を高める。」ことを目的とし、午前中は、小学校の理科担当教師を対象にした研修会が行われました。市教委の倉橋指導主事から、この研修会の意義や理科教育の目指すものなどの説明を受け、先生たちは、その後、



会場いっぱいには展示されている2学期以降の単元を中心とした小学校3年から6年までの教材・教具をグループごとに参観し、日立理科クラブ・授業支援担当者からの説明に熱心に耳を傾けていました。参加した先生たちは、持参のデジカメ等で、興味関心の高い教材・教具を撮影したり、教材の特色やどんな使い方をしたらよいのかなど、授業に活用するための方法等を質問したりするなど、教材研究への熱心な様子がとても伝わってきました。日立理科クラブの教材・教具は、試行錯誤を繰り返しながら

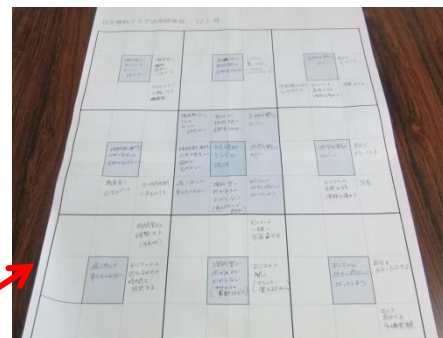
年々進化し、使いやすく分かり易い教材になってきています。日立理科クラブの特色ある教材や授業支援を、子どもたちのために有効に活用することは、どの学校においても必要だと思います。その意味で、今回の研修会が、参加した先生たちの脳裏に深く刻まれたことを期待しています。

参観の後、展示教材を活用した2学期理科授業の構想を各自で計画をする時間がとられました。日立理科クラブ活用の方法として、実験助手・原理説明・教材展示など、実際の授業での展開を想定して、日立理科クラブをどんなふうに位置づけ活用したいか立案されていました。「理科室のおじさん」の活用も含め、各学校で、日立理科クラブの持つ直接体験的な学習が実践されることを期待したいです。



最後に5つのグループに分かれ、「マンダラチャート」を使って「日立理科クラブ活用」の課題を提示し、よりよい活用方法の協議に入りました。倉橋指導主事の説明によると、「マンダラチャート」は、メジャーリーグで活躍している大谷翔平選手が、自分の将来の目標を達成するための課題を記入し、課題をクリアするための方法を考えるのに用いたということです。各グループの話し合いの様子を見ていると、課題が次々に記載され、課題解決の方法も話し合われていきました。

マンダラチャート



日立理科クラブの活用は、理科の本質的な課題に迫る貴重な体験学習であるという意見と、有効に活用するためには、教師一人一人の意識改革が必要だというまとめでした。これからの教師の資質能力の中に、外部講師等の活用を駆使したマネジメント能力が必要とされています。他の市町村にはない日立市独特の「日立理科クラブ」をうまく活用し、本市が目指している「理数教育の充実」に向けた学校の取り組みを期待したいです。次代の科学技術を担う人材を育成するために……。

午後は、中学校理科担当教師の研修が同じように実施されました。